

カワヒバリガイ 駆除マニュアル

令和 7 年 3 月

農林水産省
環境省

農業・食品産業技術総合研究機構

カワヒバリガイの概要

- ✓ カワヒバリガイは、中国、朝鮮半島原産の付着性二枚貝（成貝で体長 3 cm程度）
- ✓ 生態系や農業利水等への悪影響のおそれがあり、「**特定外来生物**_{p9参照}」に指定されています。

特徴

- 【環境耐性 高】水温0-35℃、酸素濃度下限値0.5mg/L、塩分耐性15‰程度でも生息可能
- 【繁殖力 高】1年間で水路壁面が覆われるほどの繁殖力



水路壁一面に付着したカワヒバリガイ



- ・ 関東、東海地方を中心に、近年は中国地方でも分布が確認されている。（2024年9月時点）
- ・ 水中を漂う浮遊幼生の時期があり、水系の繋がりが水の移動によって分布が拡大する恐れがある。
- ・ 一時的にでも流れが弱くなる場所に定着する。
- ・ 汽水域でも生息が確認されている。
- ・ 機場のスクリーンや水路壁に大量に付着し、施設の運用や管理に支障をきたす。
- ・ パイプライン内でも生息し、流下した死貝により下流管路が詰まる。
- ・ 吸虫類の第一中間宿主のため、淡水魚類に影響。

（侵入初期：R5.5月）



側壁部に多少の貝の付着はみられるがハンチ部は付着が見られない

（繁殖後：R6.6月）



側壁部からハンチ部まで貝が付着しておりウィーブホールが貝で埋まっている。

水路壁への付着状況の1年間の経年変化

※必ずしも色が塗られた地域全体に分布するわけではありません。

出典：侵入生物データベース（国立研究開発法人 国立環境研究所、R7年2月時点のHP掲載情報）